

平成22年度事務事業評価結果(都市整備部)

No	部局	担当課所室	事務事業名	事業概要等	21予算額 (千円)	自己評価	最終評価	指摘事項
1	都市整備部	建築指導課	建築トラブルの予防	(1)調査路線図作成、現地調査 (2)指定路線図作成(道路図形入力、関係書類デジタル化) ・市道調書平面図(市道調書図マッピング等) ・位置指定道路データ(調査整理、申請書類スキャン) ・2項道路(道路属性入力) (3)指定道路調書作成 ・第一面作成(道路延長・幅員入力、地番データの抽出) ・第二面作成(道路延長・幅員入力、道路中心線・みなし境界線の入力)	29,178	他事業と統合	他事業と統合	—
2	都市整備部	都市総務課	都市総務管理費	都市整備部の連絡調整に要する各種経費など都市総務課の事務に関する一般的経費。	3,317	現状通り継続	現状通り継続	—
3	都市整備部	都市総務課	土地区画整理会計繰出金	土地区画整理会計への繰出金。	1,393,292	拡大実施	現状通り継続	・秋田駅周辺の鉄道横断道路が秋田中央道路の開通により3本整備されたことを踏まえ、千秋山崎線の整備の必要性について、市民理解が得られるような、わかりやすい理由を来年度予算査定までに整理すること。
4	都市整備部	都市計画課	都市計画管理費	都市計画審議会や開発審査会の開催に要する経費など都市計画課の事務に関する一般的経費。	4,290	現状通り継続	現状通り継続	—
5	都市整備部	都市計画課	国土基本図等修正経費	都市計画を執行する上で、最も基本となる国土基本図及び都市計画図等を修正・更新し印刷を行う経費。(国土基本図基図・計画図・用途地域図 縮尺1:2 500、都市計画図 縮尺1/10 000及び1/25 000)	1,000	現状通り継続	現状通り継続	—
6	都市整備部	都市計画課	都市景観形成事業	「秋田市都市景観条例」および「秋田市屋外広告物条例」に基づき、市域の都市景観形成を総合的・計画的に推進し、より魅力的な街並みづくりを進める。	6,783	現状通り継続	現状通り継続	—

No	部局	担当課所室	事務事業名	事業概要等	21予算額 (千円)	自己評価	最終評価	指摘事項
7	都市整備部	交通政策室	交通政策管理費	協議会等に参加するための旅費など交通政策室の事務に関する一般的経費。	585	現状通り継続	現状通り継続	—
8	都市整備部	交通政策室	バス交通総合改善事業	利用者が年々減少し、路線の維持が困難な状況となっている郊外部における不採算路線へマイタウン・バス運行を実施するとともに、新たな運行形態の確立も視野に入れ、地域特性や利用状況に応じた公共交通形態の再構築を行い、市民の移動手段の確保と充実を図る。	57,522	現状通り継続	拡大実施	・バス利用者の増加を図るために、国の公共交通の方向性に合致し、有利な財源を確保できるようなバス利用促進施策を市がリードすること。 ・マイタウン・バスの運行継続に当たっては、財政負担の拡大をせずに、利用者の利便性向上につなげる手法を検討すること。
9	都市整備部	交通政策室	地方バス路線維持対策事業	生活バス路線は、日常の市民生活を支える移動手段として重要なことから、バス事業者に対し運行にかかる経費の一部を補助し、市民の移動手段の確保を図る。	213,973	現状通り継続	拡大実施	・国の制度（ICカード導入）の動向を見ながら、利用者の利便性向上につながる取り組みを検討すること。
10	都市整備部	建築指導課	秋田市木造住宅耐震改修等事業	地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を防止し、市民の安全・安心の確保や災害に強いまちづくりを目指すため、旧耐震基準の木造一戸建て住宅（昭和56年5月以前に建築された木造住宅）への耐震診断および耐震改修工事に対し、補助金を交付する。	1,800	執行方法の見直し	執行方法の見直し	・他の事業と組み合わせ、市民が利用しやすい制度への再構築を図ること。
11	都市整備部	建築指導課	建築確認検査体制の充実・強化	確認検査体制の充実・強化を図りながらシステムを運用する。	4,605	他事業と統合	他事業と統合	—
12	都市整備部	建築指導課	秋田市耐震改修促進計画事業	建築物の耐震化は、地震防災対策上の課題とされており、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の基本的な方針において、建築物の耐震化率を平成27年度までに少なくとも9割にすることが設定されている。「秋田市耐震改修促進計画」により、建築物の耐震改修の促進を図る。	839	執行方法の見直し	執行方法の見直し	—
13	都市整備部	建築指導課	建築確認業務管理費	旅館建築審議会の開催に要する経費など建築指導課の事務に関する一般的経費。	13,567	現状通り継続	現状通り継続	—

No	部局	担当課所室	事務事業名	事業概要等	21予算額 (千円)	自己評価	最終評価	指摘事項
14	都市整備部	住宅整備課	秋田市住宅マスタートップラン推進事業等	「新秋田市住宅マスタートップラン」に基づき、公共賃貸住宅の入居者募集に関する情報提供、住宅の耐震診断・改修に関する研修会や住宅のバリアフリー化を促進するための講習会を開催する。	668	現状通り継続	現状通り継続	—
15	都市整備部	住宅整備課	既設市営住宅改修経費	既設市営住宅の外壁や窓手すり等のほか、地上波デジタルテレビ放送開始に伴い、電波障害対策共聴設備や共同受信設備を改修し、また、住宅用火災警報器を設置することにより、良好で安全な住宅確保につとめる。	14,175	現状通り継続	現状通り継続	—
16	都市整備部	住宅整備課	住宅管理費	市営住宅および特定公共賃貸住宅を常に適正な状態に維持し、入居者の快適な居住環境の確保を図る。	229,071	現状通り継続	執行方法の見直し	・現状の交渉では、土地所有者が減額請求に応じることは困難なため、法的措置（調停等）による減額請求を行えないか検討すること。 ・法的措置を講じた場合に、交渉が長期化することもあるため、市営住宅の移転建替による土地の返還についても併せて検討すること。
17	都市整備部	住宅整備課	市営住宅駐車場管理費	市営住宅の共同施設として整備した駐車場を適正に維持管理し、入居者の利便を図る。	8,024	現状通り継続	執行方法の見直し	・駐車料金の滞納については、2～3月の滞納があれば即刻駐車場契約を打ち切る等、強い対応により未収金の削減に努めること。 ・口座振替促進を図ること。
18	都市整備部	住宅整備課	市営住宅家賃等の収納対策経費	市営住宅使用料および駐車場使用料の滞納防止および解消を図るため、滞納者への督促や調停の申立てなどの必要な措置を行う。	1,063	現状通り継続	現状通り継続	・未収金対策室と連動した手法を早期に決め、実施すること。
19	都市整備部	まちづくり整備室	秋田駅周辺施設管理費	秋田駅前周辺にある、公有財産等の維持管理を行う。	12,719	現状通り継続	現状通り継続	—

No	部局	担当課所室	事務事業名	事業概要等	21予算額 (千円)	自己評価	最終評価	指摘事項
20	都市整備部	まちづくり整備室	まちの駅推進モデル事業	まちづくりに関する情報提供機能とサロン機能を持った「まちの駅」の取組について、空きスペースを利用して、秋田駅前地区をモデルに試行する。	7,500	現状通り継続	現状通り継続	—
21	都市整備部	秋田市民交流プラザ管理室	秋田市民交流プラザ管理費	施設管理や設備保守の業務委託などを行うことにより、秋田市民交流プラザ等の効率的で適切な管理・運営に努め、市民が利用しやすい施設環境の構築を図る。	347,286	現状通り継続	現状通り継続	—
22	都市整備部	秋田市民交流プラザ管理室	アルヴェ・JR・NHKによる協働プロジェクト	三者による協力の下、駅周辺に新たな魅力を生み出していく。 ・効果的に統一された誘導サインを適所に設置。 ・アルヴェやぽぽろーどで連携イベントを開催。 ・広告板を増設し、広告料収入を財源に事業を実施する。	2,502	拡大実施	現状通り継続	・特定財源の範囲内で事業を実施すること。
23	都市整備部	秋田市民交流プラザ管理室	秋田市民交流プラザ市民活動育成・支援経費	市民交流サロンにおいて、市民活動の育成・支援を目的とした各種講座の開催や情報提供、市民活動アドバイザーによる相談業務を行うなど、市民活動に参加しやすい環境の整備を図る。また、定期的な自主イベントを開催し、秋田駅東西の人の流れを高め、賑わいを創出する。	4,510	現状通り継続	執行方法の見直し	・所管替えについては、組織・機能の見直し部会での検討事項とする。
24	都市整備部	秋田市民交流プラザ管理室	秋田駅周辺にぎわいづくり推進事業	秋田市民交流プラザを利用したイベントの誘致や会議室などの利用促進PR活動、秋田駅東西連絡自由通路等でのフリーマーケットの定期開催により、秋田駅周辺のにぎわい創出を図る。	3,643	現状通り継続	現状通り継続	—